

平成29年度
岩内あけぼの学園

事業報告書

社会福祉法人あけぼの福祉会

目 次

I. 利用者の状況	P3
1. 入退所状況	P3
①. 岩内あけぼの学園(施設入所支援)	P3
②. 岩内あけぼの学園(通所)	P3
2. 居室と担当職員の状況	P4～5
II. 職員の状況	P5
III. 見学・実習生の受入状況	P5
IV. 研修の状況	P6
1. 職場外研修の状況	P6～8
2. 職場内研修の状況	P8
V. 年間行事の実施状況	P9
VI. 生活支援の状況	P9
1. 各種スポーツ大会等の状況	P9
2. 社会生活活動の実施状況	P10
3. サークルとコンサート鑑賞の実施状況	P10
4. 避難訓練の実施状況	P10
5. 建物や設備の整備状況	P11
6. 防犯への取り組みについて	P11
7. 一泊旅行の実施について	P11
8. 広域避難訓練の実施について	P11
9. グループホーム ラフォーレの支援について	P11
10. 在宅(通所)利用者の支援について	P11
11. 記録管理システムについて	P11
12. 障がい者虐待防止法について	P12
13. 利用料収入と支援スタッフの確保について	P12
VII. 食事提供業務の状況	P12
VIII. 健康管理の実施状況	P12
1. 日常生活における予防及び衛生	P12
2. 住環境の清潔と感染性疾患の予防	P12
3. 日常の健康管理	P12～13
4. 健康診断の実施と各種検診の受診	P13
5. インフルエンザ罹患者への対応について	P13
IX. 苦情解決について	P13
X. 日中活動支援の状況	P13
1. 活動グループの状況	P14
2. 各活動グループの活動状況	P14
① 生活介護Ⅰグループ	P14～15
② 生活介護Ⅱグループ	P15
③ 生活介護Ⅲグループ	P15～16
④ 生活介護Ⅳグループ	P16
⑤ 生活介護Ⅴグループ	P16～17

I. 利用者の状況について

1. 入退所状況

①. 岩内あけぼの学園、施設入所支援利用者動向

月	現員	施設入所支援状況		異動の状況
		入所	退所	
4	53			
5	53			
6	53			
7	53			
8	53			
9	53			
10	53			
11	53			
12	53			
1	53			
2	53			
3	54	1		M・T(入所)
合計	637	1	0	

②. 岩内あけぼの学園、通所日中活動利用者動向

月	現員	通所利用状況		異動の状況
		通所	退所	
4	9			
5	9			
6	9			
7	9			
8	9			
9	10	1		K・S
10	10			
11	10			
12	10			
1	10			
2	11	1		T・M
3	11			
合計	117	2	0	

2. 居室と担当職員の状況(平成30年3月31日現在)

① 施設入所支援サービス利用者

利用者名 (男性)	担当職員		利用者名 (女性)	担当職員	
	担当	副担当		担当	副担当
T・Tさん	O・K	S・S	S・Kさん	I・T	E・T
T・Tさん	O・K	I・K	I・Rさん	I・T	K・M
Y・Tさん	H・S	T・Y	H・Hさん	T・M	Y・A
K・Yさん	H・S	Z・K	W・Hさん	T・M	F・I
M・Mさん	M・T	K・M	K・Kさん	T・M	H・M
K・Kさん	M・T	T・D	N・Hさん	S・M	N・K
I・Hさん	K・T	S・S	A・Tさん	S・M	F・M
A・Sさん	K・T	H・S	H・Eさん	F・M	F・M
I・Gさん	S・Y	H・S	E・Hさん	F・M	S・M
N・Rさん	S・Y	K・T	Y・Hさん	K・M	M・A
Y・Mさん	S・Y	H・S	O・Rさん	K・M	S・M
W・Tさん	K・M	N・S	S・Sさん	F・I	S・E
T・Tさん	K・M	N・S	T・Yさん	F・I	M・A
T・Mさん	K・M	M・T	K・Sさん	M・A	I・T
M・Sさん	N・S	O・K	I・Hさん	M・A	Y・A
U・Kさん	N・S	K・M	N・Yさん	N・K	T・M
M・Mさん	N・S	M・T	S・Mさん	N・K	F・M
O・Sさん	T・D	H・S	K・Sさん	Y・A	F・I
B・Kさん	T・D	K・T	T・Kさん	Y・A	K・M
I・Kさん	H・S	Z・K	K・Kさん	M・K	S・E
K・Hさん	H・S	S・Y	K・Kさん	M・K	N・K
S・Hさん	T・Y	S・Y	T・Kさん	E・T	K・M
M・Tさん	I・K	M・T	Y・Tさん	E・T	T・K
T・Kさん	S・S	M・T	K・Yさん	T・K	M・K
S・Kさん	S・S	O・K	W・Aさん	S・E	I・T
M・Kさん	Z・K	H・S	O・Tさん	K・M	T・M
I・Zさん	Z・K	S・Y	M・Tさん	T・M	S・M

②通所部 (在宅日中活動サービス利用)

利用者名	担当窓口	副担当	利用者名	担当窓口	副担当
N・Tさん	S・Y	K・M	H・Yさん	O・K	K・M
S・Kさん	T・D	S・Y	N・Kさん	H・M	K・M
A・Kさん	K・T	T・D	D・Hさん	K・M	K・M
T・Kさん	M・T	N・S	A・Tさん	F・M	T・K
M・Hさん	O・K	H・S	T・Mさん	S・M	T・M
K・Sさん	O・K				

※個人情報の取り扱いにご配慮くださいますようお願いいたします。

<利用区分>

	施設入所支援	合 計	備 考
施設入所支援 利用者	男性 27名 (24名) 女性 27名 (26名)	54名(50名)	・カッコ内は定員
在宅 (通所) 利用者	男性 7名 女性 4名	11名	

Ⅱ. 職員の状況について

月	職員動向		異動の状況
	採用・異動	退職	
4	4		S・S、Z・K、K・Y、A・M(採用)
5			
6		2	K・M、H・M(退職)
7			
8			
9	1		O・K(採用)
10			
11	1		H・O(採用)
12			
1			
2			
3			
合計	6	2	

Ⅲ. 見学・実習生の受入状況

月	日	見学・実習生名
6	15	清水基金施設見学
6	6/26~7/7	余市養護学校高等部現場実習受け入れ(1名)
7	7/17~8/2	経専北海道保育専門学校実習生受け入れ(1名)
8	18	拓北養護学校施設見学
8	8/21~9/3	経専北海道保育専門学校実習生受け入れ(1名)
8	25	岩宇4町村特別支援学級交流会
9	12	札幌養護学校施設見学
10	16	経専北海道保育専門学校施設見学
11	22	岩内西小学校交流会
12	14	岩内東小学校交流会
2	6	小樽高等支援学校施設見学

IV. 研修の状況

1. 職場外研修の実施状況

月	日	研修名	開催地	派遣職員
	27	ビジネスマナー・電話対応研修	岩内町	K・S
	27	第1回支援研究委員会	小樽市	S・M
	27	自閉症援助技術研究会 初任者研修会	札幌市	M・K、K・Y、S・S Z・K、A・M
5	11～12	平成29年度新人職員マナー研修	札幌市	Z・K、S・S A・M
	16	要配慮者利用施設の管理者向け説明会	倶知安町	O・H
	23～24	強度行動障害・基礎研修	福岡県	T・M、S・Y
	24～25	平成29年度定時総会及び全道施設長セミナー	札幌市	O・H
	25	第2回支援研究委員会及び希望の会	小樽市	S・M
29	ユニセフの「子どもにやさしいまちづくり事業」講演会	岩内町	S・Y、M・K K・S	
6	6～8	強度行動障害支援者研修	福岡県	K・M、F・M
	7	平成29年度法定講習会	岩内町	K・T
	7～8	平成29年度 北海道強度行動障がい支援者養成研修(基礎編)	函館市	M・T、K・M N・K
	14	第3回支援研究委員会及び情報交換会	小樽市	S・M
	19	岩内町障がい児親の会 施設見学会	仁木町	F・I、T・D
	28	平成29年度第1回岩内町福祉・介護・医療・教育関係機関原子力防災連絡会	岩内町	O・H
28	第1回「北歩～塾」	札幌市	S・M	
7	4～5	平成29年度全国知的障害関係施設長等会議	東京都	O・H
	4～6	強度行動障害支援者研修	福岡県	N・S、Y・A
	10	平成29年度 地域・相談支援セミナー	札幌市	S・M
	13	第4回支援研究委員会及び希望の会	余市町	S・M
	16～17	精神保健福祉士実習指導者講習会	東京都	H・S
	18～20	平成29年度障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座	札幌市	S・M
	19	平成29年度 権利擁護セミナー	札幌市	K・T、H・M
	21	平成29年度新任栄養士研修	札幌市	K・Y
21	職員施設見学 はるにれの里 札幌市自閉症者自立センター「ゆい」	札幌市	T・M、M・T、H・S、M・A、 K・M、T・Y、I・K、F・I、S・S H・H、F・M N・K、K・S、 M・A、A・M	
29	第17回希望の会文化祭	仁木町	S・M	
8	1～3	強度行動障害支援者研修	福岡県	H・S、T・D
	17	第5回支援研究委員会	古平町	S・M
	22～23	平成29年度看護師専門研修	札幌市	S・R
	23	平成29年度 メンタルヘルス講習会	札幌市	M・K
	25	放射線防護対策施設担当者研修会	共和町	S・M、M・K
	28	第2回「北歩～塾」講座	札幌市	S・M
31～1	北海道強度行動障害支援者養成研修	札幌市	H・M	

9	1	職員施設見学「大江学園」	仁木町	S・M、H・S、I・T S・M、S・Y T・D、Z・K、A・S、M・K、 T・K、A・M、S・R K・Y、S・E、K・T
	5	平成29年度岩内保健所感染症講座	岩内町	S・R、K・Y
	11	後志自閉症研修会	仁木町	M・K
	14	平成29年度指定障害福祉サービス事業者等に対する集団指導	倶知安町	S・M
	16～18	自閉症実践セミナー2017	札幌市	N・K
	20～21	平成29年度 北海道強度行動障がい支援者養成研修	函館市	I・T、F・I、T・Y M・K、I・K
	22	職員施設見学 古平福祉会「共働の家」	古平町	M・K、O・K、M・Y N・S、K・T、F・M、K・H、 K・M、N・S、T・Y、Y・A、 E・T、K・M、H・M、 H・J、K・M、 O・F
	28	後志支援研究委員会	札幌市	S・M
	29	平成29年度 後志知的障がい福祉協会 権利擁護研修会	共和町	S・M、S・S、 I・K、A・M、 K・M、S・E
10	2～3	平成29年度 全道支援研究委員会特別研修会	札幌市	S・M
	4	岩内町異業種交流研修会	岩内町	S・Y
	11	SST研修会	岩内町	H・S、O・K
	12～13	職員施設見学 社会福祉法人「雪の聖母園」	月形町	O・H、S・M、K・Y、 N・S、K・H、 A・M
	13	第7回支援研究委員会及び希望の会	寿都町	S・M
	19～21	第21回社会福祉法人経営青年会 全国大会	徳島県	O・H、M・T、F・I
	20～21	平成29年度 後志知的障がい福祉協会 希望の会部会「社会見学会」	札幌市	S・M
	21	北海道強度行動障がい支援者養成研修フォローアップ研修	旭川市	M・K
25	みんなあーと2017	札幌市	S・M	
11	6	後志自閉症研究委員会	仁木町	M・K、M・A
	8～9	平成29年度北海道サービス管理責任者研修	札幌市	M・K
	10	平成29年度 広報講習会	札幌市	K・S
	10	第8回支援研究委員会及び希望の会	仁木町	S・M
	14～15	父母・職員合同施設見学 千歳いずみ学園 障がい者支援施設「いずみ」	千歳市	O・H、S・M、H・S S・M、S・Y K・M、Y・A S・S、K・Y
	15～16	職員施設見学 障がい者支援施設「雪の聖母園」	月形町	O・H、M・K、S・RK・Y、M・A K・S
	16	岩宇地区自立支援協議会事業所見学	白老町	I・T
	19～20	強度行動障害支援方法フォローアップ研修及び意見 交換会	小樽市	M・K、M・A
	20	第3回「北歩～塾」講座	札幌市	S・M

	20	強度行動障害支援方法フォローアップ研修	小樽市	N・K、A・M K・Y、O・K
	24～25	平成 29 年度 後志知的障がい福祉協会職員研修会	小樽市	S・M、F・M
	27	平成 29 年度 加齢化支援研修会	札幌市	M・T、K・Y
	27～28	平成 29 年度北海道行動援護従業者養成研修	札幌市	K・T
	28	岩内町異業種交流研修会	岩内町	S・Y
12	4	平成 29 年度リスクマネジメント研修	札幌市	O・K、S・M
	8	平成 29 年度アンガーマネジメント研修	札幌市	H・S
	8	第 9 回支援研究委員会	岩内町	S・M
	9～10	平成 29 年度北海道行動援護従業者養成研修	札幌市	K・T
	12～13	日中活動支援部会全国大会	東京都	S・M
	22	「平成30年度報酬改定に向けて 現状と課題」研修会	小樽市	S・M、M・K
1	10～11	北海道強度行動障がい支援者養成研修	札幌市	F・M、K・M
	29	第 3 回運営研究委員会	余市町	O・H
	30～31	平成 29 年度 幹部職員研修会	札幌市	O・K
	30～31	第 4 回、第 5 回「北歩～塾」講座及び幹部職員研修会	札幌市	S・M
2	2	岩内町異業種交流研修会	岩内町	S・Y
	15	支援研究委員会及び希望の会	仁木町	S・M
	19～22	行動援護従業者養成研修	札幌市	O・K
	24～25	平成 29 年度第 2 回北海道強度行動障がい支援者養成研修	旭川市	S・S
	26	平成 29 年度北海道俱知安保健所感染症予防研修会	余市町	S・R、K・Y
3	6	第2回 4 法人自閉症勉強会及び実行委員会	仁木町	M・K、M・A
	9～10	後志知的障がい福祉協会支援研究委員会	小樽市	S・M
	11～12	行動援護従業者養成研修、強度行動障がい支援者養成研修 フォローアップ研修	東川町	T・D
	12	食品安全セミナー	札幌市	S・R、K・Y
	14～15	平成 29 年度 全道施設長研修会	札幌市	O・H、S・M
	26	指定障害者福祉サービス事業者報酬改定説明会	俱知安町	N・S

2. 職場内研修の実施状況

月 日	テーマ	講師	参加人員
4/3	平成 29 年度事業計画について	園長、課長	24 名
5/16	防犯講習と不審者対応の実技訓練	岩内警察署 生活安全課	31 名
11/29	基礎救命講習	岩内町消防署、泊村消防署 救急救命士	26 名
2/23	障がい者権利擁護と虐待防止について	係長	21 名
			合計 102 名

V. 年間行事の実施状況

月	日	行事名	月	日	行事名
4	3 25	開園記念日 ランチ会	10	5~6 15 25	一泊旅行(洞爺方面) 利用者ボーリング大会 ランチ会
5	15 30	胃がん検診 クリーンナップ&焼肉	11	9 18 19 22 28	日帰り旅行 利用者ボーリング大会 ファイターズOB交流会 西小学校交流会 ランチ会
6	16 21 23・27 28 29 30	ファイターズ交流会 利用者健康診断 木下大サーカス観覧 ランチ会 はばたけ会行事 木下大サーカス観覧	12	5 12 14 19	インフルエンザ予防接種 もちつき 東小学校交流会 クリスマス会
7	7~9 14 19 25 29	岩内神社祭り 夏祭り 社会を明るくするパレード ランチ会 希望の会文化祭	1	16 24	利用者健康診断 新年会
8	24 29	利用者パークゴルフ大会 ランチ会	2	2 8 14 23	節分行事 広域避難訓練 バレンタイン行事 ランチ会
9	7 9 14~15	バーベキュー 岩内町敬老会 一泊旅行(千歳方面)	3	2 29	ひなまつり会 ランチ会

VI. 生活支援の実施状況

1. 各種スポーツ大会等の状況

月 日	大会名	参加利用者、結果	参加利用者数
8/24	平成 29 年度後志知的障がい福祉協会 利用者パークゴルフ大会(倶知安町)	I・Kさん、M・Mさん、K・Yさん H・Hさん ※H・Hさんラッキー賞	4名
10/15	平成 29 回北海道障がい者ボウリング大会(小樽市)	S・Hさん、W・Tさん、K・Yさん K・Kさん ※S・Hさんサプライズ賞	4名
11/18	平成 29 年度後志知的障がい福祉協会 利用者ボウリング大会(小樽市)	M・Mさん、I・Zさん、H・Hさん T・Kさん ※H・Hさん女子の部2位入賞	4名

2. 社会生活活動について

余暇外出、プール、体育館での軽運動などそれぞれの目的にあわせて活動しており、平成 29 年度については以下を重点に支援した。

(1) 社会生活活動の内容について

- ・余暇外出では、町内の販売店や飲食店を利用して買い物を楽しんだ。また、プールや体育館での軽運動、散歩といった活動にも積極的に参加した。
- ・月 2 回程度、ハンドメイドサークルを開催し、ビーズアクセサリーや毛糸を使った人形制作を行った。
- ・利用者の方が活動に参加した際に、記録管理システム(クレヨン)へ確実に記録する事で、個別の参加状況を細かく把握できる様に取り組んだ。

(2) 感染症の予防について

インフルエンザ等の感染症の流行時期に集団感染を防ぐため、1 店舗のみの利用とし人混みを避けた短時間による買い物を実施した。更に今年度は外出が制限される 2 月と 3 月にコンビニエンスストアの訪問販売を利用して、園内での買い物を実施した。

3. サークル・コンサート鑑賞の実施状況

サークル・コンサート名	実施場所	実施日時	利用者登録	年間実施回数
ハンドメイドサークル	施設内	月 2~3 回程度	4~5 名	20 回
共和町音楽鑑賞友の会 キャブレットコンサート	共和町生涯学習センター 小ホール	5/6(土)	4 名	2 回
共和町音楽鑑賞友の会 メゾソプラノリサイタル		9/23(土)	4 名	
女声合唱団リラ 定期演奏会	岩内地方文化センター 大ホール	5/21(日)	4 名	1 回
東京プラススタイル ジブリパーティー	岩内地方文化センター 大ホール	8/20(日)	5 名	1 回
みんなアート展展覧会	北海道立道民活動センター かでの 2.7	10/27(金)	4 名	1 回

4. 避難訓練の実施状況

月 日	訓練の種類	訓練の内容	利用者参加人数	年間実施回数
5/29	自主訓練	通報訓練・避難訓練	59 名	4 回
7/31	自主訓練	通報訓練・避難訓練	60 名	
10/31	自主訓練、消火訓練	通報訓練・避難訓練 消化訓練	61 名	
2/8	広域避難訓練	通報訓練・避難訓練	61 名	

5. 建物や設備の整備について

5月31日、施設外周の防犯カメラ(7台)及びインターホンの設置工事が終了した。併せて、岩内警察署へ防犯強化の為、パトロールによる巡回を依頼した。

施設敷地内に主に高齢者を中心とした生活棟(別棟)が11月末に完成した。施設入所支援と日中活動支援(生活介護)を提供し、支援の充実と個室化を図った。(定員6名、予備室1名)若干の手直し工事や備品の購入、設置、これらと併せて支援体制も整ったことから、平成30年2月1日から正式に運用を開始した。名称については親しみやすいイメージから「えみしあ」とした。

高齢化に伴う運動機能の低下や疾病による機能低下により、転倒による怪我や事故に配慮する必要があることから、大友福祉振興財団補助事業から車椅子2台と転落防止用ベルト2組の助成を受け整備した。

更に、電動ベッド2台、シャワー用車椅子1台についても学園で購入し整備した。

6. 防犯への取り組みについて

5月16日、岩内警察署職員7名が来園し、職員への防犯講習会と実地指導を実施した。また、利用者の方には防犯に対する話をして頂いた。

7. 一泊旅行の実施について

9月と10月に利用者の希望を取りいれながら、2コースに分かれて一泊旅行を実施した。例年通り保護者の参加も募り、家族で楽しい思い出を作ることが出来た。また、健康面から一泊が難しい利用者の方には別の日程で日帰りでの小旅行を実施した。

8. 広域避難訓練の実施について

原子力災害における広域避難訓練を2月に実施した。法人として協定を締結している伊達市の太陽の園に利用者の代表と職員が参加し、更に岩内町の職員も同行して避難先の確認を行った。今回は冬期間の避難を想定した訓練となったが、体調を崩す利用者の方もおらず無事に終了した。

9. グループホーム ラフォーレの支援について

施設入所支援から地域生活へと移行した利用者に対し、あけぼの学園として出来る限りのバックアップを行った。

10. 在宅(通所)利用者の支援について

通所時は検温等を実施し、健康状態の把握を行った。体調が優れない様子が見られた場合は、速やかに身元引受者へ連絡を行い、体調不良が悪化しないよう配慮した。また、体調不良が続いた場合は身元引受者と連携を図り、場合によっては受診に職員も同行させてもらい体調面の把握を行った。

11. 記録管理システムについて

記録管理システムを活用し、利用者の方の日常の生活の状況をきめ細かく把握し記録することを徹底し、そのデータを健康管理や個別ケース等の支援に活用した。

また、蓄積されたデータを活用しモニタリングやアセスメント(評価)を行ない、利用者の方の個別支援計画(ケアプラン)を策定した。

12. 障がい者虐待防止法について

障がい者虐待防止法を順守し、施設内における虐待防止委員会を毎月開催した。また、虐待防止に関わる研修会の定期的な開催と外部研修へ積極的に参加した。

13. 利用料収入と支援スタッフの確保について

国や利用者から支払われる一般的な支援費のほか、重度障がい者支援加算や人員配置体制加算などを活用し、施設の収入財源を確保したうえで、国が定める一定の配置基準以上(今年度実績は利用者 1.7 名に対して支援スタッフ 1 名以上)の支援スタッフにより、利用者に対する日々の支援サービスを提供することが出来た。更に、夜間はあけぼの学園本体に職員 3 名、生活棟別棟(名称:えみしあ)にも夜勤職員 1 名を配置することで、夜間における支援の充実を図った。

VII. 食事提供業務の状況

1. 選択食、希望食の実施

複数の料理からその場で好きなほうを選択する献立、メニューブックを参考にして自分の食べたい料を自由にリクエストし、それを献立に反映させたリクエスト献立を行った。

2. 行事食、野外での食事会の実施

毎月のランチ会、開園記念日、新年会などの行事食のほか、野外での食事会(炭火でのバーベキュー)を行った。

3. 特別食、エネルギー制限食の提供

腎臓疾患、糖尿病の利用者の方への特別食の提供、咀嚼、嚥下が困難である利用者の方への数種類に分けた刻み食の提供など、利用者の方の健康状態に合わせた食事の提供を行なった。

また、個人の年齢、体型、運動量、代謝量などを考え、通常の 1.800kcal の食事のほか、若年層男女の 2.000kcal、さらに 1.600kcal、1.460kcal の食事提供区分を設定し、利用者の方の健康に配慮した。

VIII. 健康管理の実施状況

1. 日常生活における予防及び衛生

①生活習慣として、うがい、手洗い及び手指消毒を行った。(洗面所にはアルコール消毒液を常設した。) また、手拭用のタオルを用意し、一回毎一人一枚ずつ使いきるようにし、間接的な感染を防いだ。

②入浴時には全身の怪我や皮膚の状態を観察し、異常があれば迅速に対応するよう努めた。

2. 住環境の清潔と感染性疾病の予防

①毎日のトイレの消毒、又各月ごとに全館の消毒を行った。更に布団の滅菌、乾燥及びクリーニングを年 2 回(5 月、12 月)に行った。

②ハセツパー水(除菌効果のある微酸性次亜塩素酸水)に対応した噴霧器を男女各棟のDルームに設置することで感染症の予防に努め、加湿器も設置し温度、湿度の調整を心掛けた。

3. 日常の健康管理

①検温を毎朝測定し、異常のあるときは通院し、軽易の症状であれば常備薬で対応した。対応した状況については、看護記録に記載するとともに記録システムに詳細な記録をとった。

②全利用者さんを対象に月 1 回体重測定を行った。また、体重の推移を細かくチェックする必要がある利用者の方については、毎週体重測定を行った。

③50歳以上の方と高血圧で治療をしている方については、毎日血圧測定と血中酸素濃度を測定し、50歳以下の方に対しては、週 1 回血圧測定を実施した。数値が安定しない利用者の方に対しては健康管理委員会で話し合い、ケース会議で検討した。また、肥満防止のために、食事量の検討、ウォーキング、近隣の体育館を利用した運動や体操などを定期的に行った。

④嚥下困難な利用者の方に対して「健口体操」を継続して行った。

⑤退勤時、利用者の方の健康状態をチェックした。

⑥インフルエンザの予防接種を行った。

4. 健康診断の実施と各種検診の受診

①施設で実施する年 2 回の健康診断の他、岩内町で実施する各種検診(胃癌、乳癌、婦人科検診)を受診し、早期発見に努めた。また、身元引受人の了解を頂き、血液検査による癌検診(血液マーカー検査)を実施した。

②町内の歯科医院で治療が可能な利用者の方については町内で治療を行った。また、町内での治療が困難な利用者の方については、北海道大学歯学部へ通院し治療を行なった。

5. インフルエンザ罹患者への対応について

毎年心配されているインフルエンザであるが、今年度は男女共に罹患することは無かったが次年度以降も対策や予防を徹底する。

IX. 苦情解決について

今年度においても法人の苦情解決第三者委員の方に施設を訪問していただき、6 月のはばたけ会行事と12月のクリスマス会行事に参加し、利用者の方との交流を図っていただいた。また、今年度は身元引受人から苦情が 4 件と要望が 2 件あったが、いずれも軽微な内容であり、すでに解決済みであることをこれらの機会にあわせて報告を行った。

また、朝の朝礼や毎月行なう利用者自治会の会議の中で、利用者の方から何点か要望が聞かれ、軽微な要望であった為、これについてもその都度解決した。

X. 日中活動支援の状況

日中活動区分	生活介護(入所)	生活介護(通所)	生活介護(合計)	サンライズ(通所)
人数	54名	11名	64名	1名

1. 日中活動グループの状況について(平成30年3月31日現在)

活動グループ名		平成29年度日中活動編成			在籍数	運営責任者
		利用者名				
生活介護	生活介護 I	T・Kさん	S・Kさん	I・Zさん	13名	○M・T T・M Z・K
		K・Kさん	M・Tさん	O・Rさん		
		S・Kさん	T・Kさん	O・Tさん		
		Y・Tさん	N・Tさん	T・Mさん		
		K・Sさん				
	生活介護 II	N・Rさん	K・Sさん	K・Yさん	9名	○S・Y K・M N・S
		B・Kさん	T・Tさん	K・Sさん		
		T・Kさん	T・Mさん	M・Tさん		
	生活介護 III (創作活動)	M・Sさん	N・Yさん	T・Yさん	14名	○S・M H・S S・S
		Y・Tさん	W・Hさん	H・Eさん		
		W・Aさん	T・Tさん	K・Kさん		
		I・Kさん	S・Hさん	D・Hさん		
		A・Tさん	K・Kさん			
	生活介護 IV (個別支援)	K・Hさん	K・Kさん	A・Sさん	12名	○M・A N・K T・D M・K
		S・Mさん	I・Hさん	N・Hさん		
		M・Kさん	S・Sさん	I・Gさん		
		H・Hさん	T・Tさん	S・Kさん		
	生活介護 V (しいたけ)	H・Yさん	I・Rさん	K・Yさん	16名	○K・T K・M Y・A
		M・Mさん	Y・Hさん	E・Hさん		
		O・Sさん	N・Kさん	A・Tさん		
Y・Mさん		M・Mさん	U・Kさん			
W・Tさん		M・Hさん	A・Kさん			
I・Hさん						

※個人情報の取り扱いにご配慮くださいますようお願いいたします。

2. 各グループの活動状況について

①生活介護Iグループ

○目標(重点目標)

①楽しんで活動に参加出来るよう、個々に応じた個別課題等を設定する。

②健康面に配慮しながら身体機能維持に向けた活動を行ない健康増進に努める。また、レクリエーションを定期的に実施し、ストレスの軽減に努める。

○どの様な取り組みを行うか

①利用者の方が好む活動を提供する。

②検温と血圧を測定してから活動に参加する。また、活動中も利用者の方の健康状態に留意した上で活動内容を提供する。

- ③学園内の歩行や簡単なストレッチを行ない、ストレス軽減・健康維持に努める。
- ④冬期間中は散歩ができない為、ドライブやレクリエーションを実施し、活動への意欲向上に繋げる。

○後期の取り組みに対する評価

- ①個別課題を随時、見直し更新する事で意欲的に参加することが出来た。
- ②事前にバイタルを確認した上で活動に参加しており、活動中に体調不良になる利用者の方はいなかった。
- ③9月から作業療法士が身体機能維持運動を行なうことで、利用者の方の特性に合わせた運動メニューやリハビリテーションを実施し健康維持に努めることが出来た。
- ④天候に合わせて散歩やドライブを行なうことで意欲向上に努めた。また、3月14日にはレクレーションとして、生活棟(えみしあ)で鍋パーティーを実施し、気分転換を図ることが出来た。

②生活介護Ⅱグループ

○目標(重点目標)

- ①個別的な関りを保ちながら、個々の特性に応じた活動内容を設定し、取り組む事で活動参加への理解と意欲の向上に繋げる。
- ②屋外での活動機会を設定し、定期的な気分転換やレクリエーションなど心身のリフレッシュを図る事で生活場面における心身の安定に結び付ける。

○どの様な取り組みを行うか

- ①個々の心身の状態に合わせて、作業療法士と活動メニューを設定し、リハビリテーションや個別課題を提供する。
- ②天候に応じて散歩や屋外での活動機会を設定し、気分転換を図る。また、休憩時間をこまめに設けることで、ストレスなく活動に参加できる様、配慮する。
- ③レクリエーションを適宜実施し、心身のリフレッシュを図る。

○後期の取り組みに対する評価

- ①作業療法士と連携を図り、リハビリテーションを中心に提供したことで、顕著な体力低下等は見られなかった。また、活動メニュー(リハビリ)が増えたことで意欲的に参加する利用者の方も増えた。その他、個々の特性に応じた個別課題を提供することでマンネリ化を防ぐことが出来た。
- ②屋外での活動は天候に恵まれず、散歩の実施数回が少なく、気分転換を図る機会が十分に提供出来なかった。来年度に向け冬期間中の活動内容を検討する必要がある。
- ③3月に多目的ホールで昼食を兼ねたレクレーションを実施している。施設内でレクリエーションを行なうことで、全体的に落ち着いて参加することが出来た。

③生活介護Ⅲ(創作活動)グループ

○目標(重点目標)

- ①楽しんで活動に参加出来るように個々に応じた創作活動を設定する。
- ②散歩や歩行訓練などの身体を動かす活動を取り入れ、身体機能の維持とストレス軽減・健康維持に努める。

○どの様な取組みを行なうか

- ①個々の能力や興味がある事、季節に応じた創作活動を設定する。また、完成品を父母会等で配布を行ない、学園内で展示する事で、活動意欲の向上に繋げる。
- ②散歩や軽運動を取り入れ、健康維持に努める。
- ③レクリエーションについては、室内で行なえるレクリエーションを実施する事で、心身のリフレッシュを図る。

○後期の取り組みに対する評価

- ①利用者の方の希望や特性に応じて、アクリルたわしの作成・行事等に使う創作物の作成や個別課題を提供し、取り組む事が出来た。創作物については園内での掲示を行なうことによって、意欲向上に繋げる事が出来た。
- ②気候が良い時には散歩を提供しており、顕著な健康機能の低下は見られなかった。
- ③レクリエーションは、活動棟内でカレーライス作りを行ない、心身のリフレッシュが出来たと共に、活動に向けての意欲向上に繋げる事が出来た。

④生活介護Ⅳ(個別支援)グループ

○目標(重点目標)

- ①TEACCHプログラムの理念を取り入れた支援を提供しながら見通しの持てる活動を提供する。
- ②体を動かす機会やレクリエーションを設けることでストレスを発散し、安定した時間が過ごせるように取り組む。

○どのような取り組みを行なうか

- ①個別課題を定期的に更新する。
- ②一人一人の特性や状態に合わせ、個別でのスケジュールの提示や活動を提供する。
- ③体を動かす事でストレスを発散し、安定した時間を過ごしてもらい、また、定期的にレクリエーションを実施する事で気分転換を図る。

○後期の取り組みに対する評価

- ①定期的に新しい課題を提供する事で意欲を持って参加する事が出来た。また、アセスメントを行なう事により、個々の特性に合った個別課題を提供することが出来た。
- ②その都度状態に合わせ、活動場所の環境を整える事で落ち着いて活動に参加する事が出来た。また、アセスメントを行なう事により、スケジュールの提示方法を変更する事で、見通しを持って活動に参加する事が出来た。
- ③レクリエーションについては、活動棟内でパンケーキを提供したが、回数が少なかつたため、来年度に向けては定期的にレクリエーションを実施し、心身のリフレッシュを図り、活動参加への意欲向上に努める。

⑤生活介護Ⅴ(しいたけ)グループ

○目標(重点目標)

- ①椎茸の品質の安定及び、委託販売店に安定した供給ができるように、計画的な製造量の確保に努める。
- ②活動メニューを個々の利用者の方に設定し、椎茸の栽培を通して活動に対する意識を養う。また、活動に対する基本的な動作が身に付けられるように支援する。
- ③軽運動やレクリエーション活動を適宜に取り入れ健康増進、心身のリフレッシュに努める。
- ④せっけんの製造を通して、自身の役割を理解し、協力して取り組む態度を養う。

○どのような取り組みを行うか

- ①椎茸の栽培、せっけんの製造に関わる活動を分担して提供する事で、活動に対する意識を高める。
- ②活動内容を明確にし、混乱なく且つ自発的に活動へ参加できる様、活動を提供する。
- ③散歩等の運動やレクリエーション活動を適宜に行ない、健康の増進と気分転換を図る。

○後期の取り組みに対する評価

- ①しいたけの栽培に関しては、ホダ木の運搬や椎茸採取を中心に行なっており、個々の活動内容を明確にすることで、自発的に活動に参加することが出来ている。また、せっけんの製造に関しては、役割を分担する

ことで、積極的に活動へ参加することが出来た。

②試験的にほだ木の運搬を男性、椎茸採取を女性に割り振り、並行して活動を実施した。採取については女性ワーカーに依頼し、利用者の方と共に採取する事で、楽しく取り組むことが出来ていた。

③レクリエーションについては、10月に町外での外食、3月には創作活動棟内で実施した。その他、気分転換を図るため、散歩等も行なったが、椎茸の採取や計量に時間を要し、十分には提供できなかった。